



はい
それ本館の鍵ネ

君みたいな若い子が
バイトに来てくれて
ウレシイよ

朝の『6時』になったら
交換でお給料出すヨ

じゃ中に入ったら
詳しく説明するネ……

：夏休みに入ったボクは
道でたまたま拾った
求人情報を頼りに
ここへバイトをしに来た
：軽い気持ちで

……それが
あんな事になるなんて
この時は微塵も
思っていなかったけど……

モンスター
ハウス

業務はとっても
簡単だヨ…

朝の6時まで
モニターを見て
異常が起らないか
監視しているだけ…

警備の仕事だと
思ってくれればいいヨ



夜はすごく
長いからね…

オナニーでもして
時間潰してて
いゝヨ



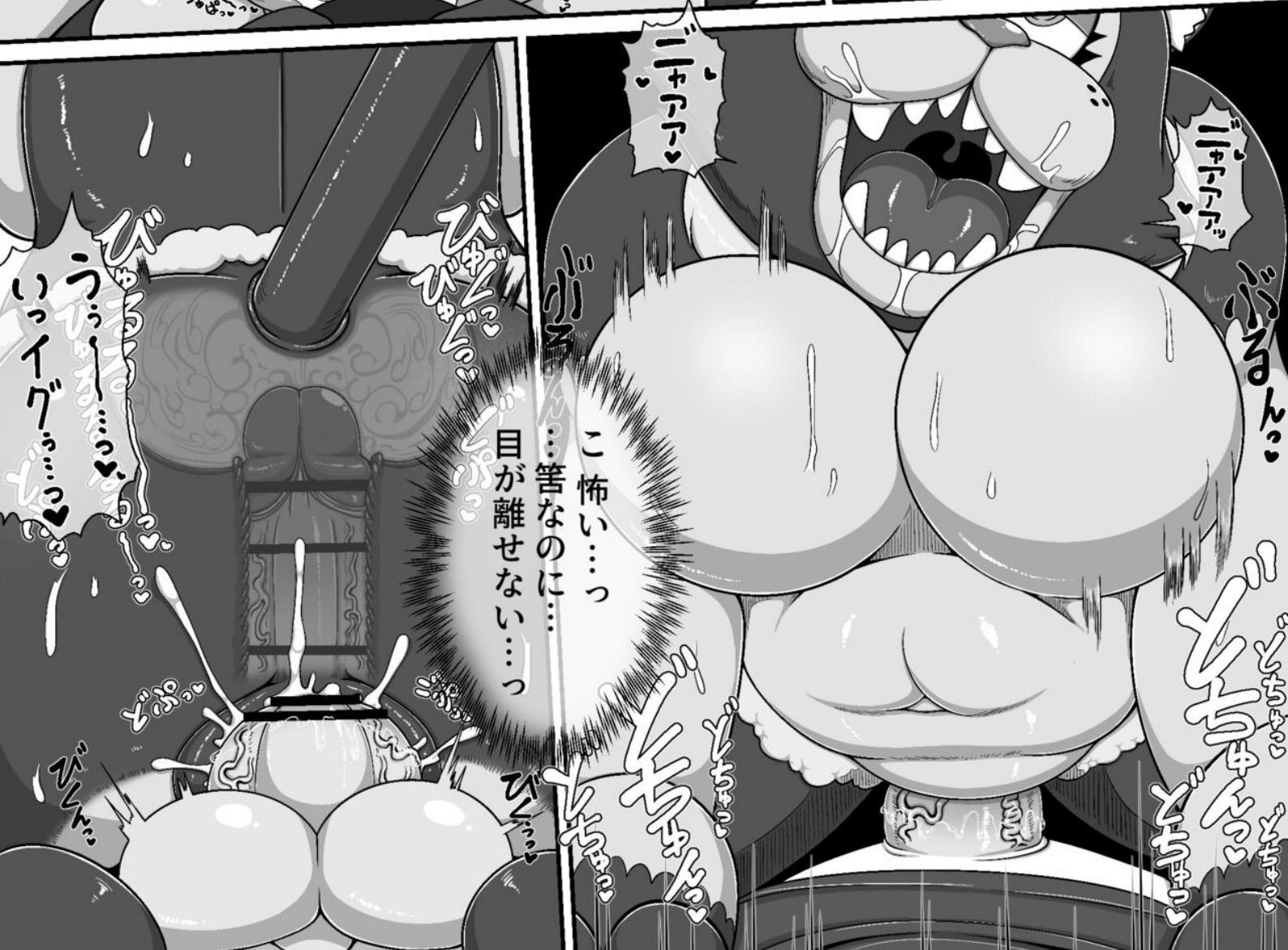
椅子のボタンは
「ヤバイー」って思ったら
ポチッと押してネ
扉が閉じるヨ



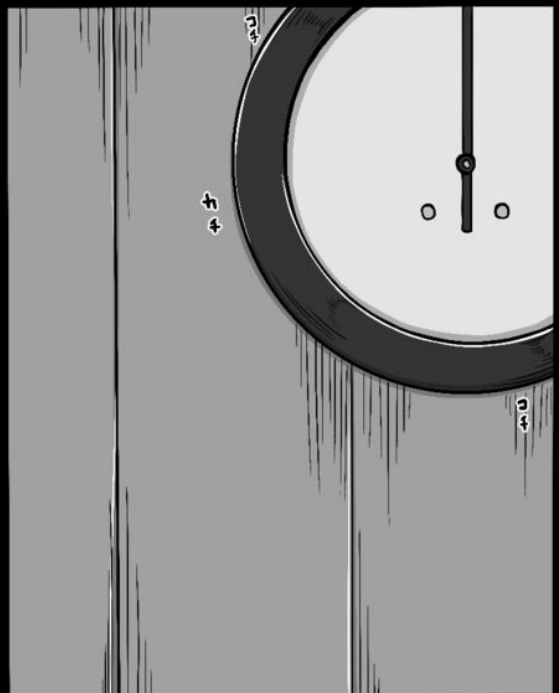










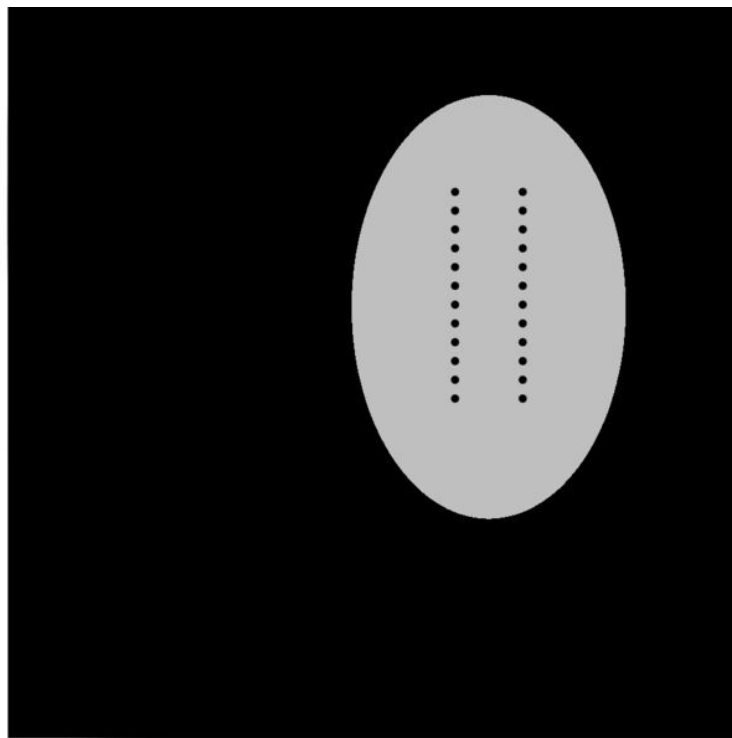




アッ今日もちゃんと
来てくれたんだネ
ウレシイよ！

もしかして…
このバイト
『気に入った』のカナ？

楽しんでる

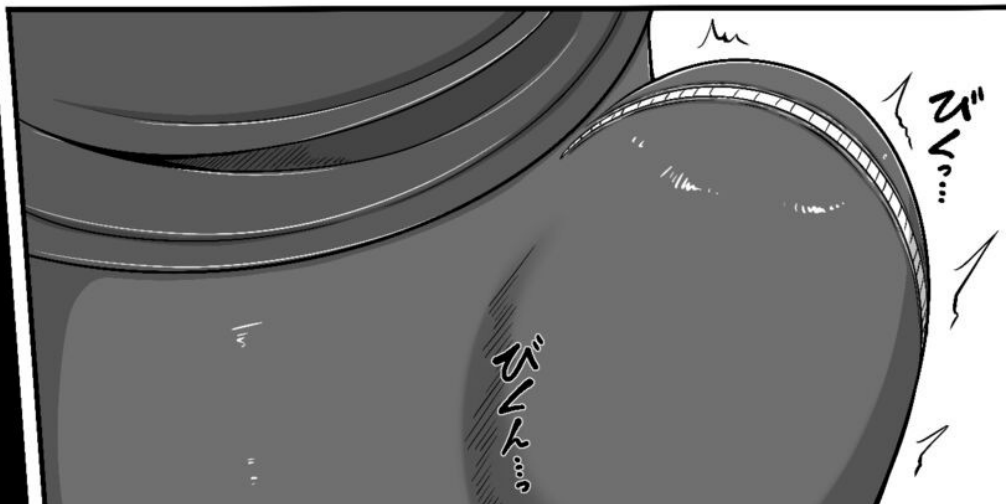


次の日――



あはは…
おお給料が
良いので…

ソウ？
じゃ今日も
ガンバッテねー

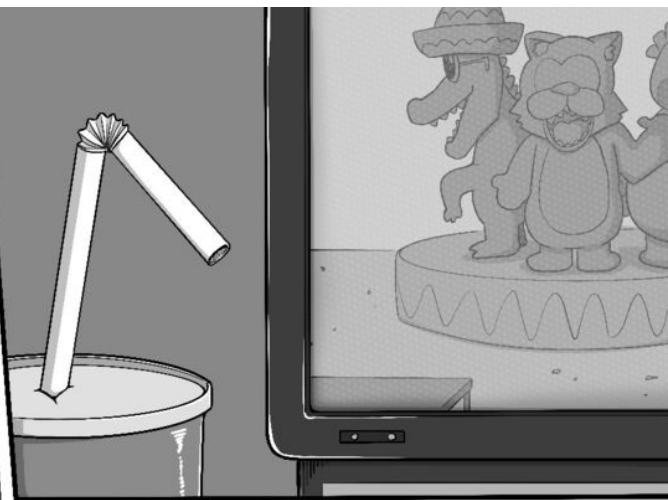


…今日も『アレ』は
来るのだろうか…



あんなバケモノに
期待なんかして…
…でも……

……
どうかしてるぞ…
ボク……



……
今日は出てきて
くれないのかな…

ボクは普通に女の人
好きな筈なのに…
何故か…『アレ』に
上書きされたような…



昨日のアレが
ずっと頭から
離れない

くくくつ!!
来たあ...っ!!

ひっ...!?

ズ

!!...♡

...あれ...?
昨日とは違う
バケモノ...!?

いっ
いきなり
そんなっ ♡

あっ
あっ
あっ ♡

やばい...っ ♡
こんなのスグ...っ ♡

ちゅぽっ ♡

くぽっ ♡

くぽっ ♡

くぽっ ♡

じゅぽっ ♡

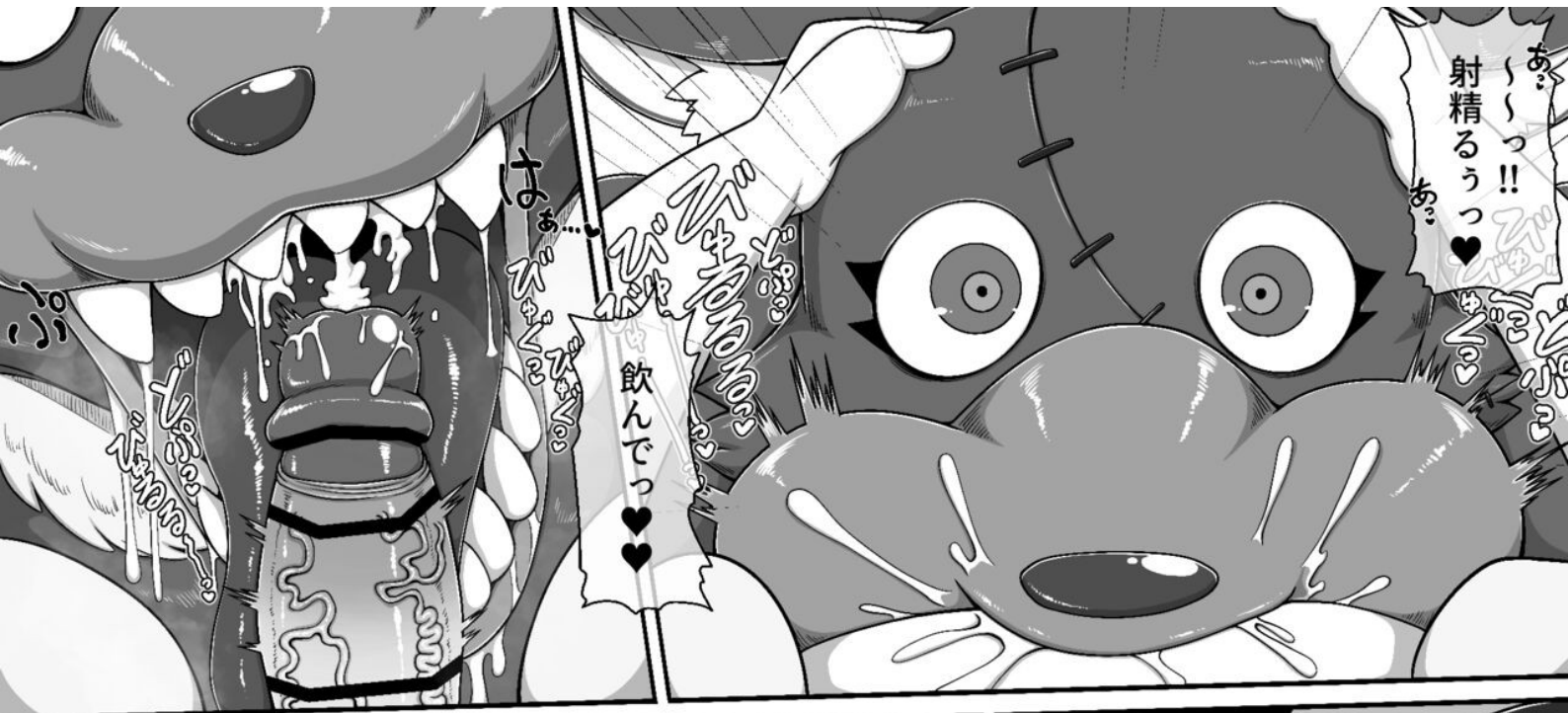
じゅぽっ ♡

ちゅぽっ ♡

ちゅぽっ ♡

ちゅぽっ ♡

しゅぽっ ♡



あゝ
うっ!!
射精るうっ♡
あゝ

飲んでっ♡



ズ...

あゝ

あゝあゝ
すわれ
てるっ♡

あゝ

びんぐ

ちゅん
ちゅん
ちゅん

あああ……っ
またこんな訳のわからない
バケモノ相手に
気持ち良くなっ……て……

えっ



あつまた来たネ！
3日目も頼むヨ

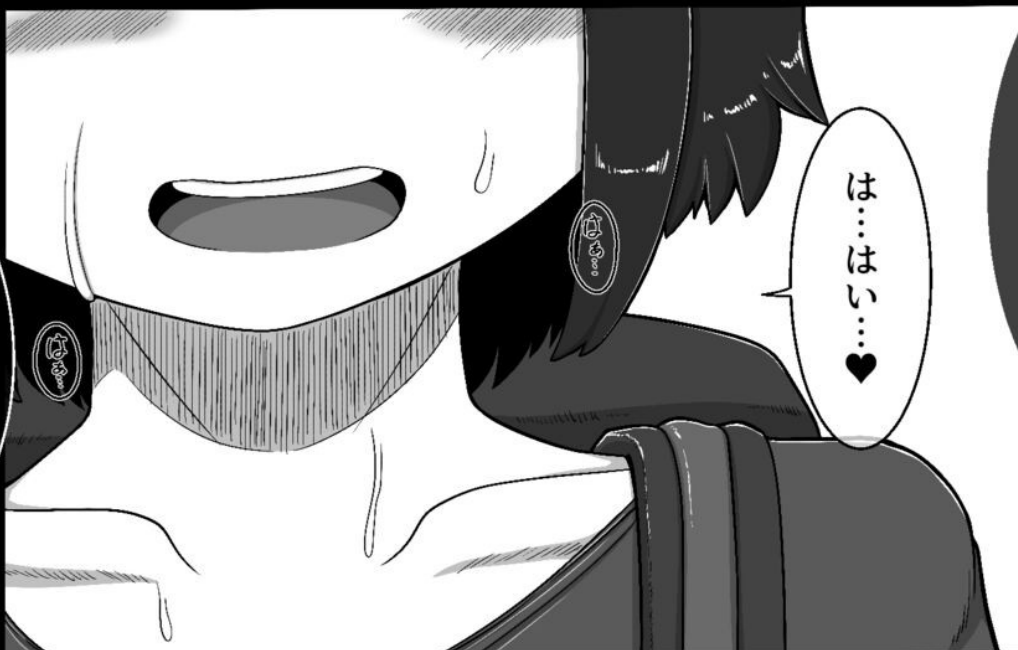
君以外の応募が
来なくてネー
本当に助かるヨ

え？
6時以降もやりたいイ？
ダメダメ！
バイトなんだカラ：

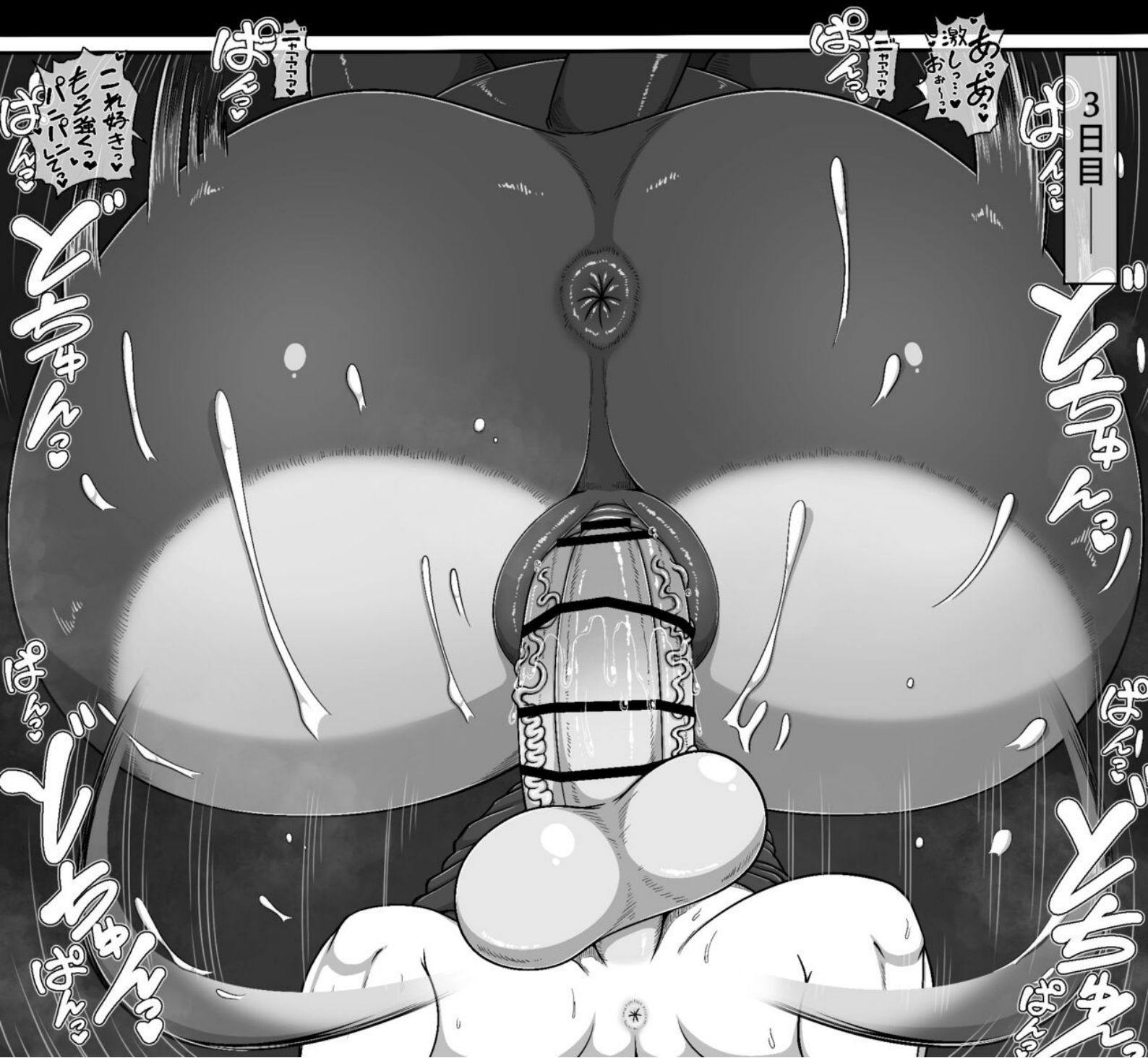
にしても
君は熱心だネー
そんなにココが好き？

は…はい…♡

わーッ
ウレシイよー♡
じゃあ今日も
ガンバツテねっ



ボクはそれからも
毎日欠かさずに
モンスターハウスへ
『バイト』しに行つた





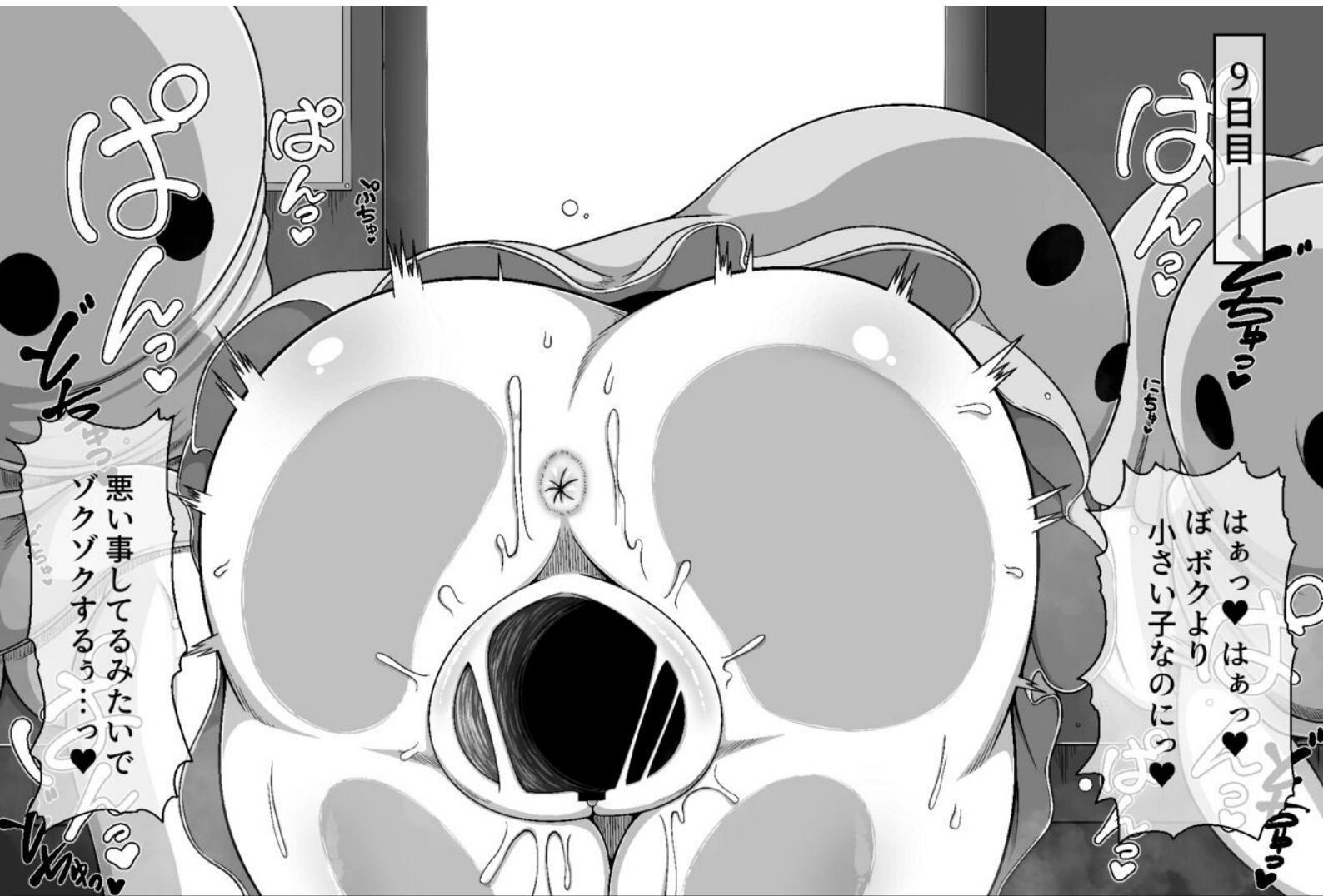
はん

はあっ♡はあっ♡
ぼボクより
小さい子なのにつ♡

ぱん

ぱん

悪い事してるみたいで
ゾクゾクするう…♡



あっあっ♡
気持ち良い♡
お人形さんと
シてるみたい♡

ううっ♡今日は
扉塞いちゃうね…♡
あゝまた射精るうッ♡





30日後

今日も来たネ
…実は話があるんだ

ハイ制服
今日から6時を
過ぎてもいいヨ!

君なら『正社員』として
雇っても良いと思ってネ
……どうかナ?

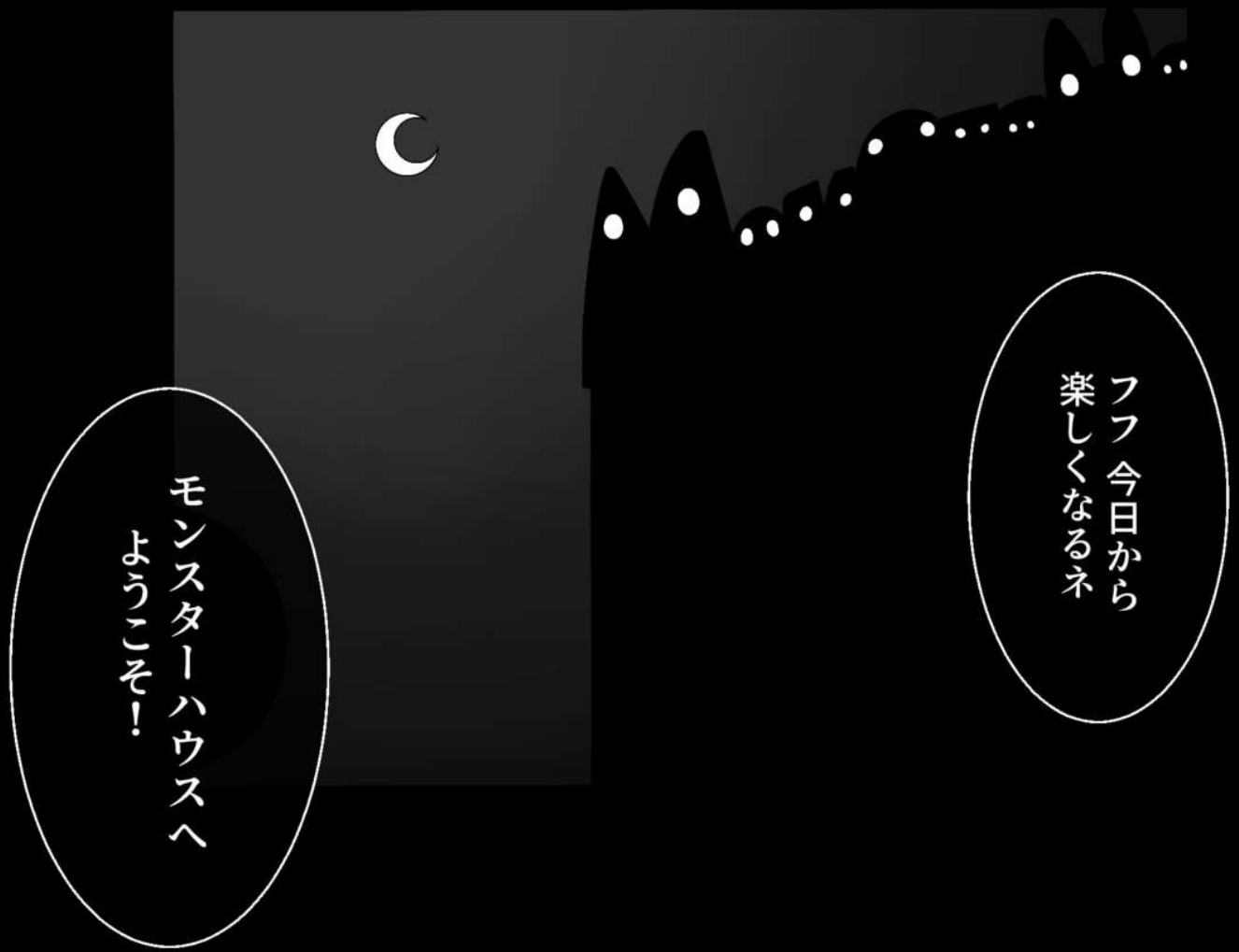
あっ聞くまでも
なさそうだな♥
ずっと君みたいな人材が
欲しかったから嬉しいヨ♥

……家族には
お別れしてきタ?

あはは言える訳ないカ
いいんじゃない?
これからはココが
君の家……

『皆』きっと
オオヨロコビするヨ♥





少年Aの行方は誰も知らない。

モンスターハウス
終



